

2023年3月期 第3四半期決算

決算説明会

2023年1月31日

株式会社 トクヤマ



2023年3月期 第3四半期決算のポイント

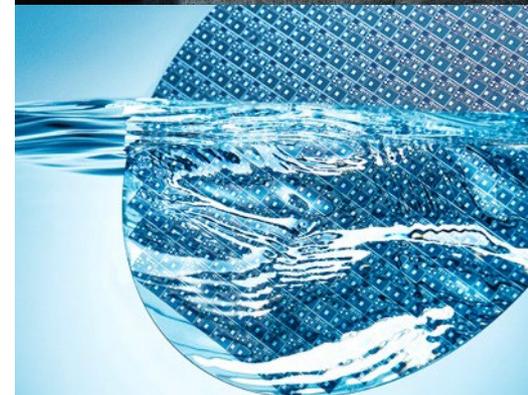
- 化学品、セメント、半導体関連製品などで販売価格修正を進めたこと等により増収であったものの、原燃料価格や物流費などのコスト増、市況の悪化等により減益
- 塩ビの海外市況下落により通期業績予想を修正。現状までの進捗と外部環境を踏まえセグメント別予想も修正
- 通期業績予想達成及び来期の収益性改善に向け、販売価格修正やコスト削減策を進める

CONTENTS

- ① 2023年3月期 第3四半期決算
- ② 2023年3月期 業績予想
- ③ 補足資料

① 2023年3月期 第3四半期決算

1. 決算概要
2. セグメント別売上高／営業利益
3. 営業利益増減分析
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析



1. 決算概要

(億円)

	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	増 減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	2,116	2,590	+474	+22	石化製品、セメント及び 半導体関連製品価格修正
営業利益	171	131	△39	△23	物流費及び原燃料コスト増加 塩ビモノマー海外市況下落
経常利益	176	133	△43	△25	営業利益の減少
親会社株主に帰属する 四半期純利益	133	85	△48	△36	経常利益の減少
1株当たり 四半期純利益 (円)	185.87	118.51	-	-	-
為替 (円/\$)	111	137	-	-	-
国産ナフサ価格 (円/kℓ)	53,800	79,800	-	-	-

1. 決算概要

(億円)

	2022年3月末	2022年12月末	増 減	主要な変動要因
総資産	4,332	4,804	+472	原燃料単価アップに伴う 棚卸資産の増加
自己資本	2,245	2,279	+34	親会社株主に帰属する 四半期純利益の積み上げ
自己資本比率	51.8%	47.4 %	△4.4ポイント	-
有利子負債	1,092	1,465	+373	長期借入金の増加
D/Eレシオ	0.49	0.64	+0.16	-
ネットD/Eレシオ*	0.12	0.33	+0.21	-
1株当たり純資産 (円)	3,120.25	3,167.63	-	-

*ネットD/Eレシオ：（有利子負債－現預金・現金同等物・金銭信託）／自己資本

2. セグメント別売上高／営業利益 (前年同期比)

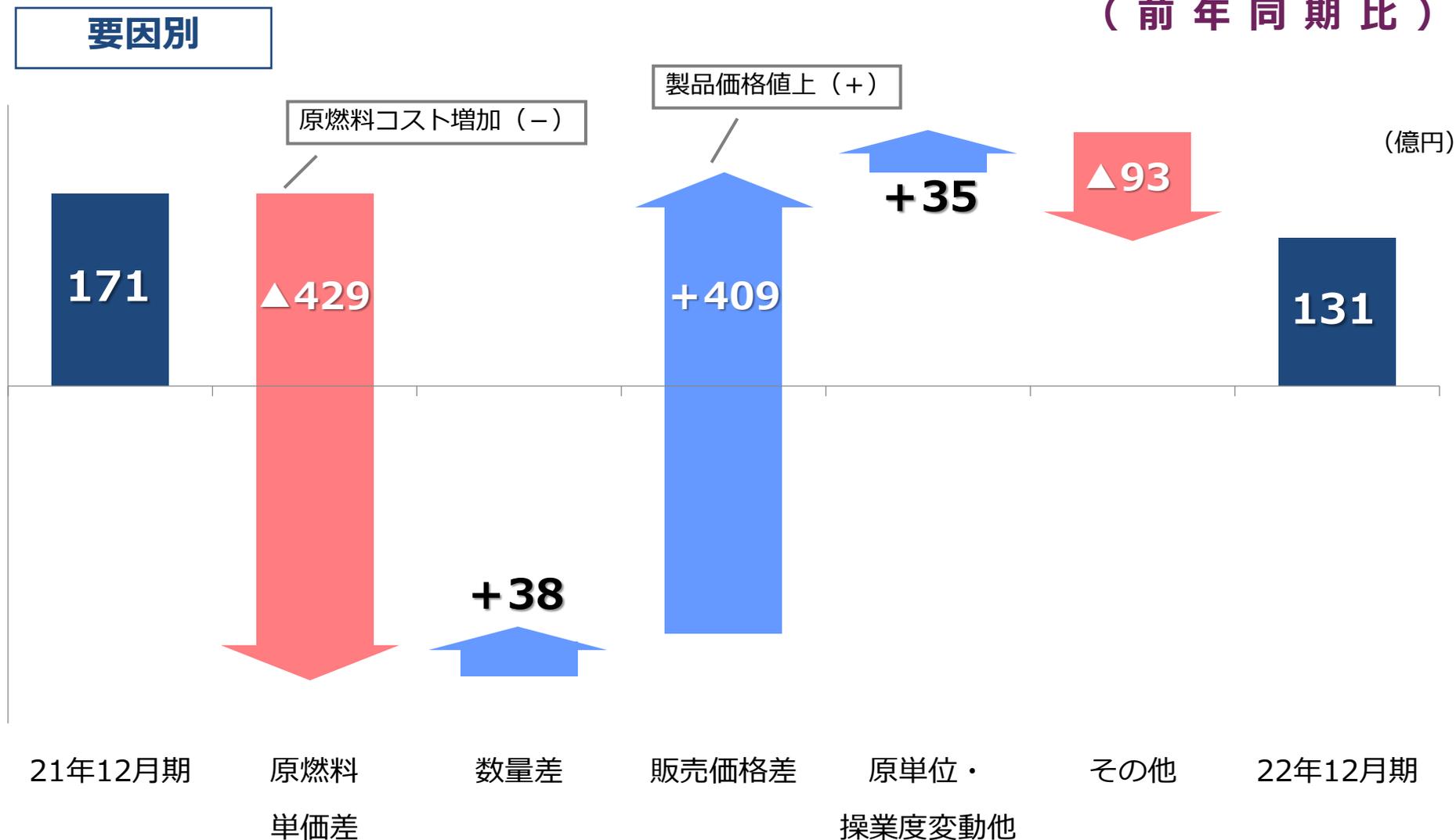
(億円)

	2022年3月期 第3四半期		2023年3月期 第3四半期		増 減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	724	99	864	47	+139	+19	△51	△52
セメント	382	△10	438	△28	+56	+15	△18	-
電子材料	534	49	670	69	+135	+25	+19	+40
ライフサイエンス	234	40	279	56	+44	+19	+15	+39
環境事業	70	△5	103	3	+33	+47	+8	-
その他	263	28	335	21	+72	+28	△7	△26
計	2,210	202	2,692	169	+482	+22	△33	△16
セグメント間 消去・全社費用	△94	△31	△102	△37	△8	-	△6	-
連結決算	2,116	171	2,590	131	+474	+22	△39	△23

(注) 各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

3. 営業利益増減分析

(前年同期比)



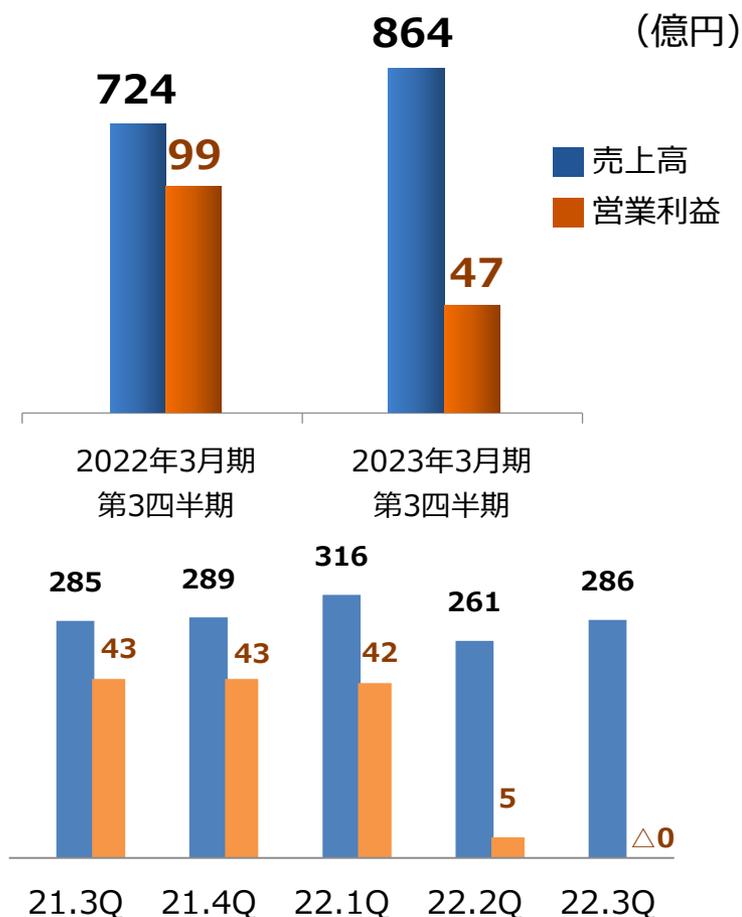
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

(前年同期比)

化成品

増収減益

定性情報



(苛性ソーダ)

- ・原燃料コストの増加はあったものの国内価格転嫁を進めたこと、及び輸出価格が上昇したことにより増益

(塩ビモノマー・塩ビ樹脂)

- ・原燃料価格の上昇で製造コストが増加したこと、及び塩ビモノマーの海外市況が下落したこと等より減益

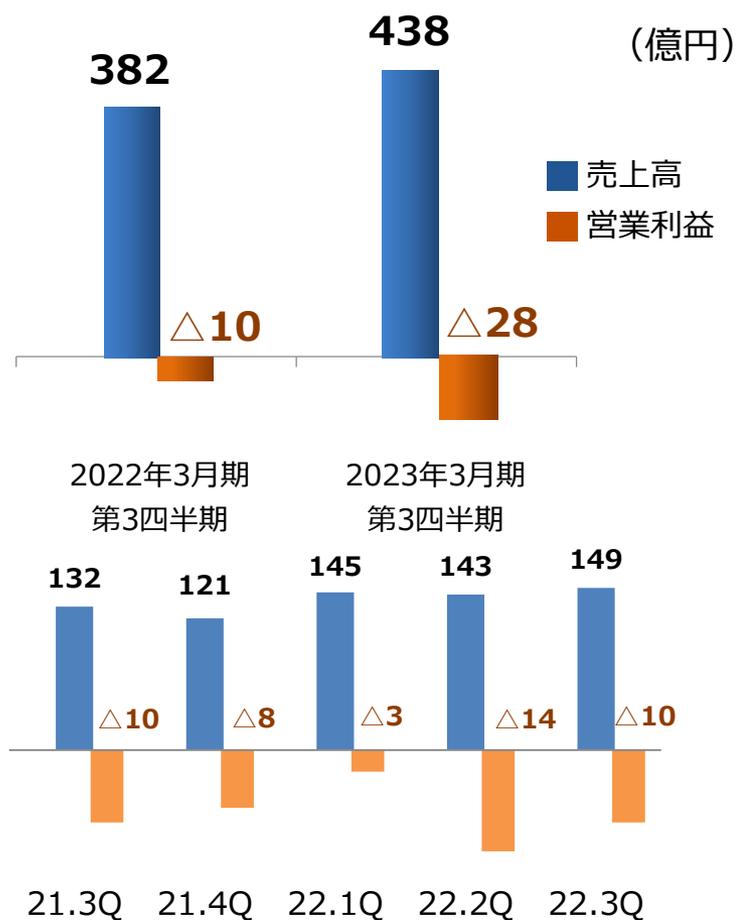
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

(前年同期比)

セメント

増収赤字拡大

定性情報



(セメント)

- 国内出荷は前年同期並みであり、販売価格は是正等に努めたものの、原料価格の上昇で製造コストが増加したことにより損益悪化

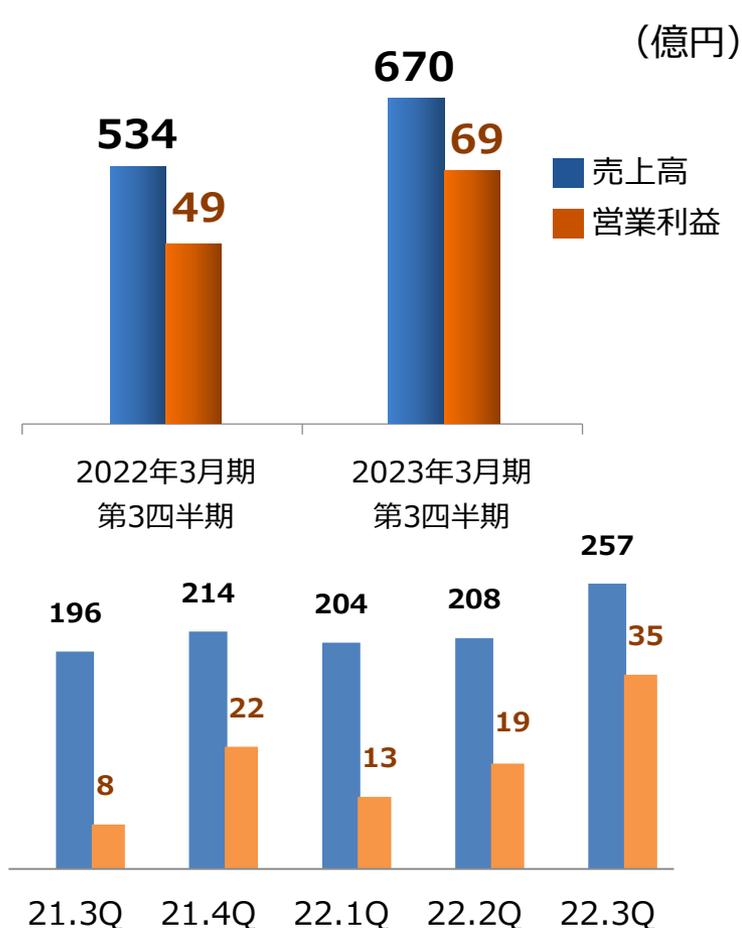
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

(前年同期比)

電子材料

増収増益

定性情報



(半導体向け多結晶シリコン)

- ・原燃料価格の上昇等による製造コストの増加はあったものの、販売価格修正を進めたこと等により増益

(ICケミカル)

- ・半導体向け用途の需要は前年並みであり、販売価格修正を進めたものの、原燃料価格の上昇等により減益

(乾式シリカ)

- ・原燃料コストの増加はあったものの、国内の販売価格修正や輸出価格上昇等により増益

(放熱材)

- ・半導体製造装置向けを中心に販売数量が堅調に推移し増益

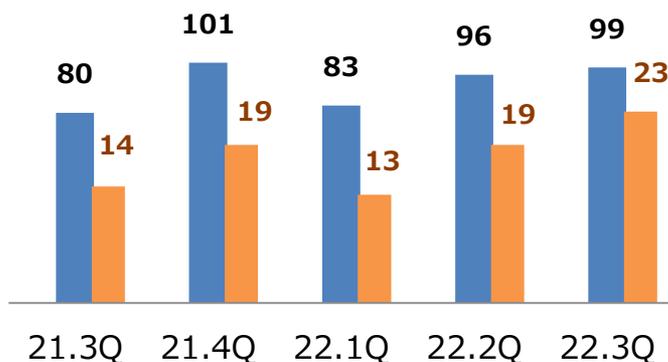
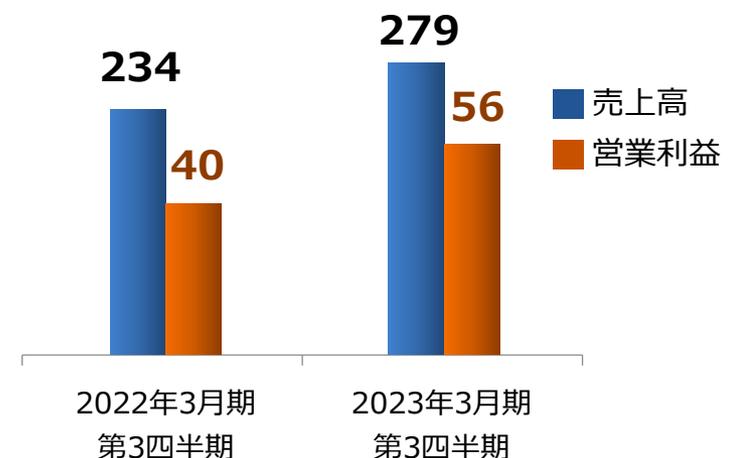
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

(前年同期比)

ライフ
サイエンス

増収増益

(億円)



定性情報

(歯科器材)

- ・海外向けを中心に出荷が増加したことにより増益

(医薬品原薬・中間体)

- ・ジェネリック医薬品向けの販売数量が堅調に推移し増益

4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

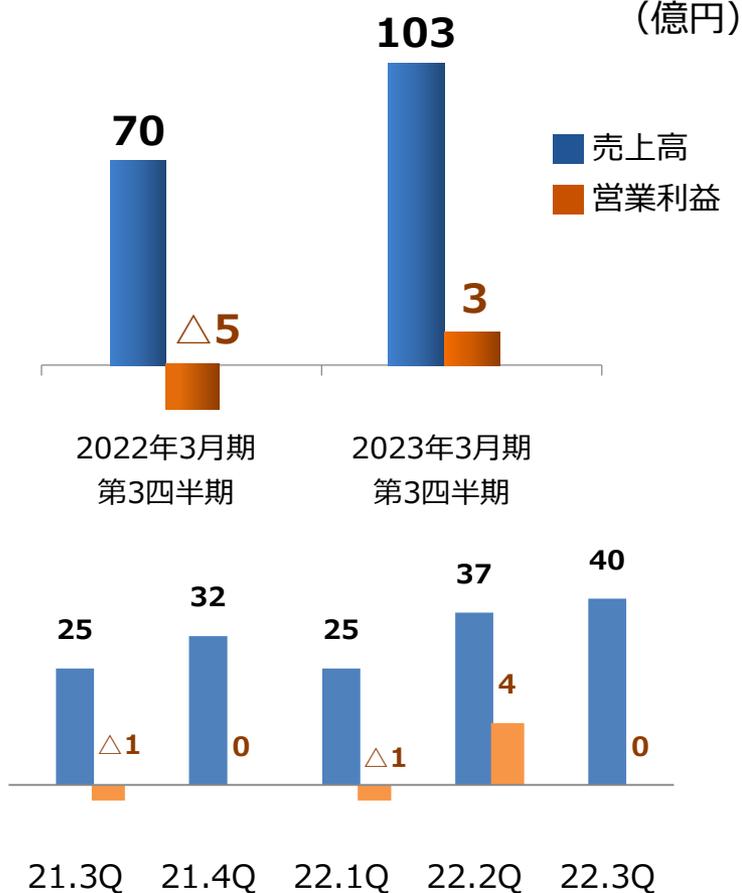
(前年同期比)

環境事業

増収黒字転換

定性情報

(億円)



(イオン交換膜)

- ・出荷が増加したこと等により増益

(廃石膏ボードリサイクル)

- ・廃石膏ボードの受入は堅調だったものの、燃料コストの増加等により減益

② 2023年3月期 業績予想

1. 業績予想修正
2. セグメント別業績予想修正
3. 事業概況見通し



1. 業績予想修正

'22/10/28公表値から修正

(億円)

	2023年3月期 予想 (2022/10/28公表)	2023年3月期 予想 (2023/1/31修正)	増 減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	3,700	3,560	△140	△4	塩ビの海外市況の下落
営業利益	210	180	△30	△14	塩ビの海外市況の下落
経常利益	240	180	△60	△25	営業利益の減少
親会社株主に帰属する 当期純利益	150	120	△30	△20	経常利益の減少
1株当たり 当期純利益 (円)	208.47	166.78	-	-	-
為替 (円/\$)	上期実績 : 134 下期前提 : 145	1~3Q実績 : 137 4Q前提 : 130	-	-	-
国産ナフサ価格 (円/kℓ)	上期実績 : 83,200 下期前提 : 72,000	1~3Q実績 : 79,800 4Q前提 : 64,000	-	-	-

塩ビの海外市況の動向等を踏まえ、2022年10月28日に公表した数値を修正する

2. セグメント別業績予想修正

'22/10/28公表値から修正

(億円)

	2023年3月期 予想 (2022/10/28公表)		2023年3月期 予想 (2023/1/31修正)		増 減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	1,270	120	1,180	75	△90	△7	△45	△38
セメント	610	△25	590	△25	△20	△3	-	-
電子材料	960	70	930	80	△30	△3	+10	+14
ライフサイエンス	380	70	380	75	-	-	+5	+7
環境事業	150	0	140	0	△10	△7	-	-
その他	460	25	470	25	+10	+2	-	-
計	3,830	260	3,690	230	△140	△4	△30	△12
セグメント間 消去・全社費用	△130	△50	△130	△50	-	-	-	-
連結決算	3,700	210	3,560	180	△140	△4	△30	△14

(注) 各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

3. 事業概況見通し

【化成品】～ 海外市況注視

苛性ソーダ

国内… 需要安定 値上げ完了

海外… アジア市況底打ち感 4Q改善の見通し

VCM・PVC

海外… 底打ち感 インド需要堅調 中国需給に注視

【セメント】～ 価格修正と低品位炭使用で収益改善

- ・ 値上げ 上期で1次値上げ合意
2次値上げ、満額を取るべく交渉を進める
- ・ 石炭 低品位炭継続使用

【電子材料】～ 市場変化・需要減、23年上期需要停滞 23年後半から復調

- ・ 半導体市場低迷の影響注視
(多結晶シリコン、ICケミカル、シリカ、放熱材)

もっと未来の人のために

TOKUYAMA 

③ 補足資料

1. 連結財務諸表（要約）
2. 業績推移



1. 連結財務諸表（要約）

損益計算書

（億円）

	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	増減	
			金額	%
売上高	2,116	2,590	+474	+22
売上原価	1,418	1,886	△468	△33
販管費	526	571	△45	△9
営業利益	171	131	△39	△23
営業外損益	5	1	△3	△72
経常利益	176	133	△43	△25
特別損益	21	△1	△22	-
税前四半期純利益	198	131	△66	△34
法人税等	64	46	+17	+27
非支配株主損益	0	△0	△0	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	133	85	△48	△36

（注）差損益の表示は、利益を+、損失を△としている

1. 連結財務諸表（要約）

貸借対照表

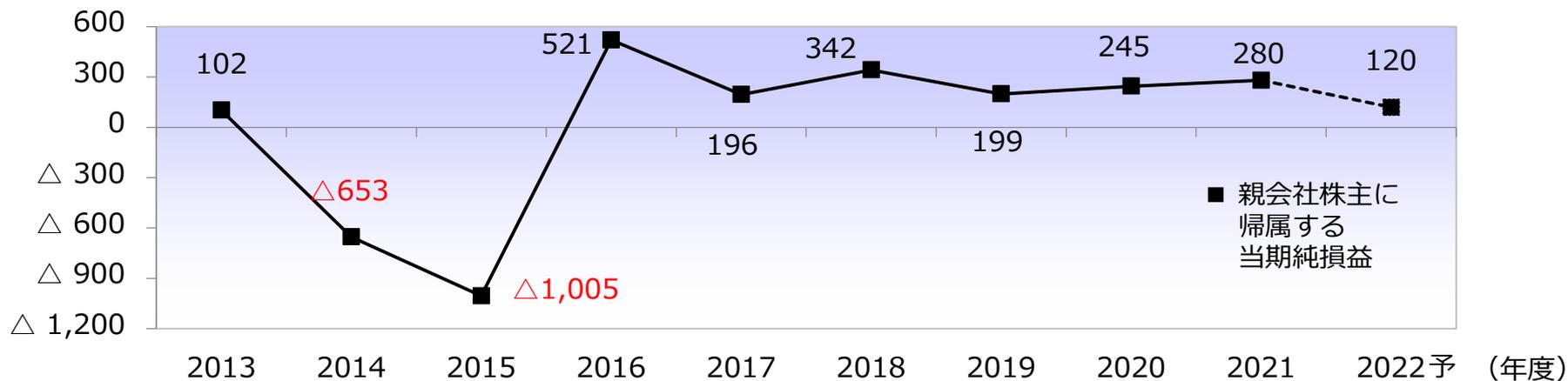
（億円）

	2022年3月末	2022年12月末	増減	
			金額	%
資産合計	4,332	4,804	+472	+11
流動資産	2,239	2,592	+353	+16
有形固定資産	1,396	1,496	+100	+7
無形固定資産	26	36	+9	+35
投資その他の資産	669	678	+8	+1

	2022年3月末	2022年12月末	増減	
			金額	%
負債合計	2,002	2,403	+400	+20
流動負債	1,023	903	△119	△12
固定負債	979	1,499	+519	+53
純資産合計	2,329	2,401	+71	+3

③ 補足資料

2. 業績推移

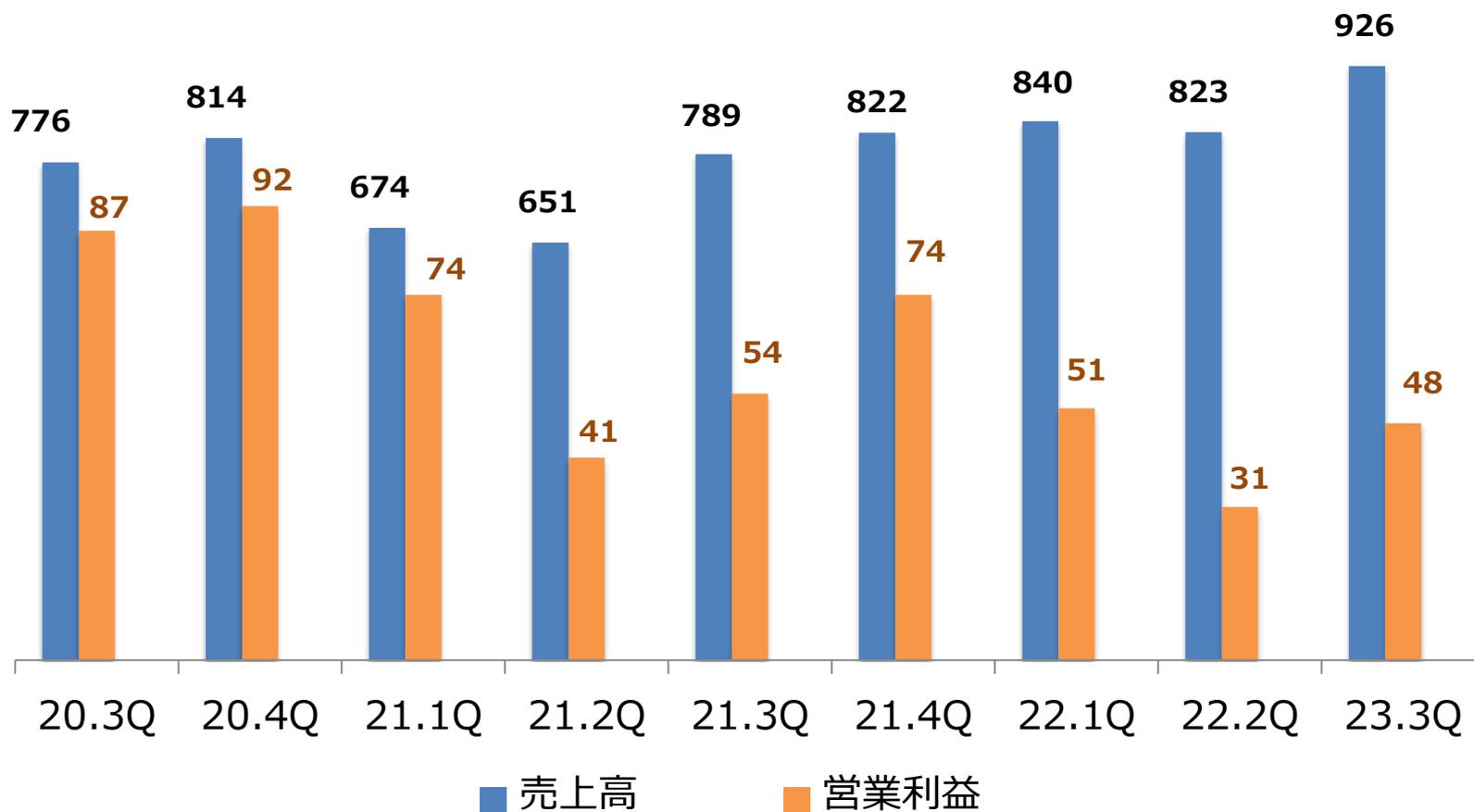


2. 業績推移

連結

四 半 期

(億円)



本資料に関するご注意

本資料は情報提供を目的とするものであり、何らかの勧誘を目的とするものではありません。

本資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。

また、当社の許諾なしに掲載情報を使用（複製、改変、頒布、販売、転載、出版等を含む）することはできません。

もっと未来の人のために

TOKUYAMA 